

小形除雪車 購入仕様書

令和7年度

聖 籠 町

小形除雪車 仕様書

概 要

この仕様書は、小形除雪車に適用するもので、納入機は下記に定める性能、諸元、各部構造その他を満足するほか、道路除雪作業の使用に耐え得る十分な耐久性、信頼性と、良好な操縦性能を有するものとする。

納入機は運輸省令昭和26年第67号（以降の改正分を含む）「道路運送車両の保安基準」に適合するものでなければならない。

ここに明記されていない箇所については、聖籠町（以下「発注者」という）と物品供給人（以下「受注者」という）が協議のうえ決定するものとする。

使用目的

小形除雪車は、降積雪時における歩道の通行確保を目的として、除雪作業に使用するものである。

1 性 能（JIS D6509 性能試験）

- | | |
|---------------|------------|
| (1) 最大除雪量 | 200 t/h 以上 |
| (2) 投雪距離 | 0～12 m 以上 |
| (3) 最大除雪幅 | 1,000 mm |
| (4) 最大除雪高 | 800 mm 以上 |
| (5) 走行速度 | 15 km/h 以下 |
| (6) 運転室内騒音レベル | |

「騒音障害防止のためのガイドライン」（厚生労働省平成5年4月20日、基発0420第2号）第I管理区分に準ずる。（測定方法はJCMAS H011の機械定置時による）

2 除雪装置

- | | |
|----------|--|
| (1) 形 式 | ツーステージ形、ロータリ除雪装置 |
| (2) 構 成 | オーガ、ブロワ、中折式シュート |
| (3) 能 力 | |
| シュート旋回角度 | 250 度 以上 |
| シュート高さ | 1,900 mm 以上 |
| 昇降範囲 | 地下 50 mm～地上 300 mm 以上 |
| チルト角度 | 左右各 5 度 以上 |
| シュー | 除雪装置の接地状態を調整できるシューを有すること |
| 安全装置 | 除雪装置に設計を超える負荷が生じた場合に、機械を保護する安全装置を備えるものとする。
除雪装置を停止させる安全装置を備えるものとする。 |

3 主要諸元

- | | | |
|-------|--------------|-------------|
| (1) 全 | 長 (走行姿勢) | 4,700 mm 以下 |
| (2) 全 | 幅 (除雪装置含む) | 1,000 mm 以下 |
| (3) 全 | 高 (黄色灯火上端まで) | 2,000 mm 以下 |
| (4) | 最低地上高 | 150 mm 以上 |
| (5) | 車両総質量 | 2,600 kg 以下 |

なお、「7 付属装置及び付属品 7-2 車両総質量に含まないもの」以外は、本車両総質量に含むものとする。

- | | | |
|-----|------------------|----------|
| (6) | 最小回転半径 (最外側車輪中心) | 4.0 m 以下 |
| (7) | 乗車定員 | 1 人 |

4 車 体

- | | | |
|-----------|------|------------------------|
| (1) 機 関 | | |
| | 形 式 | 水冷、ディーゼル機関 |
| | 定格出力 | 29 kW 以上 |
| (2) 駆動方式 | | |
| | 形 式 | 総輪駆動式 |
| (3) タイヤ | | |
| | 形 式 | スノータイヤ又はスタッドレスタイヤ |
| (4) 走行装置 | | |
| | | 後車軸もしくは前後車軸に懸架装置を有すること |
| (5) かじ取装置 | | |
| | 形 式 | 油圧式車体屈折機構式 |
| (6) 運転室 | | |
| | 構 造 | 密閉形 |
| | 窓 | (前)冬用ワイパーブレード付 |

5 計器類

- | | | |
|-----|--------------------------------|-----|
| (1) | 運行記録計 (45km/h 以上、機関回転数記録、7 日計) | 1 式 |
| (2) | 機関回転計 (運行記録計組込型も可) | 1 式 |
| (3) | 燃料計 | 1 式 |
| (4) | アワーメータ | 1 式 |
| (5) | 油圧計又は油圧警告灯 (走行用油圧回路補給用) | 1 式 |
| (6) | 水温計 | 1 式 |
| (7) | 充電警告灯 | 1 式 |
| (8) | 機関油圧計又は機関油圧警告灯 | 1 式 |

- | | |
|-------------|-----|
| 6 照明装置類 | |
| (1) シュート作業灯 | 1 灯 |
| (2) 黄色灯火 | 1 式 |

7 付属装置及び付属品

7-1 車両総質量に含むもの

- | | |
|------------------------------|-----|
| (1) バックブザー | 1 式 |
| (2) ウインドウォッシャー（前面、電動式） | 1 式 |
| (3) 標識板（300×500mm 以上、車体後部取付） | 1 式 |

7-2 車両総質量に含まないもの

- | | |
|------------|-----|
| (1) 標準付属工具 | 1 式 |
| (2) 取扱説明書 | 1 部 |
| (3) 部品表 | 1 部 |

8 塗 装

国土交通省建設機械塗装基準による。

9 検 査

完成検査は、寸法、外観、溶接、その他組立状況を検査し、さらに車両や作業装置類の動作等の確認を行い全般的な機能を検査する。

ただし、車両総質量については、本仕様書で定めたとおりであることを、その内訳が判る資料により検査する。

検査に要する器具、人員等は受注者において準備するものとする。

10 保 証

納入後 1 か年以内に設計製作上の欠陥によるものとみなされる故障が発生した場合には、受注者は無償修理を行わなければならない。ただし、製作会社等が別に定めた 保証期間が 1 箇年以上にわたる場合には、それを適用する。

特に重大な故障が発生したときは、上記期間経過後であっても、発注者と受注者が協議のうえ、受注者に無償修理を行わせることがある。

11 その他の事項

11-1 製造期日等の指定

納入機は新品でなければならない。

11-2 灯火の取付方法の指定

黄色灯火の取付方法は、次のとおりとする。

- イ) 黄色灯火の規格、取付位置については、「道路維持作業用自動車及び道路管理用緊急自動車の取扱について（昭和 55 年 6 月 5 日付け、建設省機発

第 473 号(以降の改正分を含む))」に準じるものとする。

ロ) 黄色灯火は、運転室又は作業装置上部に堅固に取付け、黄色灯火の重量、振動に耐えるよう取付部分に必要な補強を行うものとする。

11-3 提出図書の言語の指定

取扱説明書など提出を義務づけられた図書に使用する言語は、日本語とする。

11-4 緩和申請等について

本履行にあたり、車両登録、基準緩和の申請及び道路維持作業車の申請・届出については受注者が行なうものとする。また、これらにかかる費用は受注者の負担とする。

ただし、これにより難しい場合は発注者の指示を受けるものとする。

11-5 納入期限について

令和 8 年 3 月 1 3 日とする、大幅に前倒しでの納入が可能場合は発注者と協議し、納入日を決定するものとする。

小形除雪車オプション装備

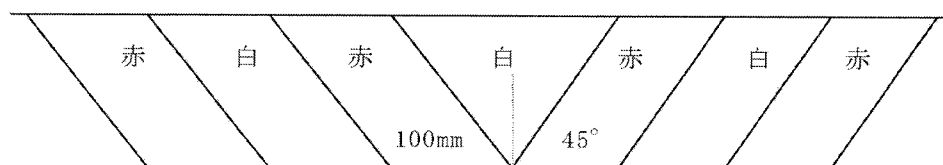
- | | | |
|---|----------------|--------------------------|
| 2 | 除雪装置 | 雪切版（両側）
油圧式チップバック |
| 4 | 車 体 | |
| | (1) 運転室 | 窓（前）熱線入り、冬用ワイパーブレード付 |
| | (2) 走行速度制御 | 走行手動レバー及び足踏ペダル |
| 6 | 照明装置類 | 作業灯（後部、LED 式）
ステップランプ |
| 7 | 付属装置及び付属品 | |
| | (1) タイヤチェーン | 1 式 |
| | (2) 床マット（ゴム製） | 1 式 |
| | (3) バッテリースイッチ | 1 式 |
| | (4) 前面熱線入りガラス | 1 式 |
| | (5) バッテリーカバー鍵付 | 1 式 |
| | (6) 燃料キャップキー付 | 1 式 |

特 記 仕 様 書

各機種の仕様書によるほか、次によるものとする。

1 塗装仕様と表示

- 1) バンパを有する車種については、バンパを下図のように塗装するものとする。
なお、バンパを有しない車種にあつては、これに類する箇所に塗色する。この場合後部の赤色部分には、反射塗料を使用するものとする。



車両前後部の赤白縞

- 2) 作業装置の危険表示については、除雪装置の回転部分は赤色とし、その他は赤白の縞塗料を施す。
- 3) 「発注者」の指示する箇所に町章と、「聖籠町」の文字を黒色丸ゴシック体で記入するものとする。
- 4) 車体の後部に取付ける標識板は「別紙－1 除雪車後部標識板製作及び取付寸法図」をもって、「発注者」の指示する位置に取り付けるものとする。

2 提出図書

1) 納入計画書（製作着手前に提出する。）

- a 提出図書一覧表
- b 担当者一覧表（社内体制）
- c 納入工程表
- d 製作仕様書
- e アフターサービスメンテナンス体制
- f 打ち合わせ記録
- g 塗装要領書

※過去の同規格の納入機で除雪作業に多大な支障をきたす故障があったものに関しては、故障の原因・対応策等について「発注者」に報告するものとする。

2) 建設機械履歴簿（次の必要事項を記入する。）

- a 規格、形式（メーカー呼称）及び主仕様
- b 機械本体とエンジンの製作会社名、製造番号、製作年月日
ただし、凍結防止剤散布車の場合は、車体と散布装置それぞれについて記入するものとする。

3) 写真（カラー・サービス判）

- a 建設機械履歴簿写真

車両の前後、左右両側面（管理番号がわかるもの）・・・履歴簿の部数
b 検収写真（納入場所にて撮影する）

車両の前後、左右両側面、管理番号拡大写真、付属品・・・各2部

c 機械台帳写真

車両の正面から見て右斜め前、左斜め後ろ、側面・・・各2部

4) 維持管理資料

a 部品価格表

b 点検シート（日常、1か月、12か月）

c 同上点検要領（機種特有の点検内容を含むもの）

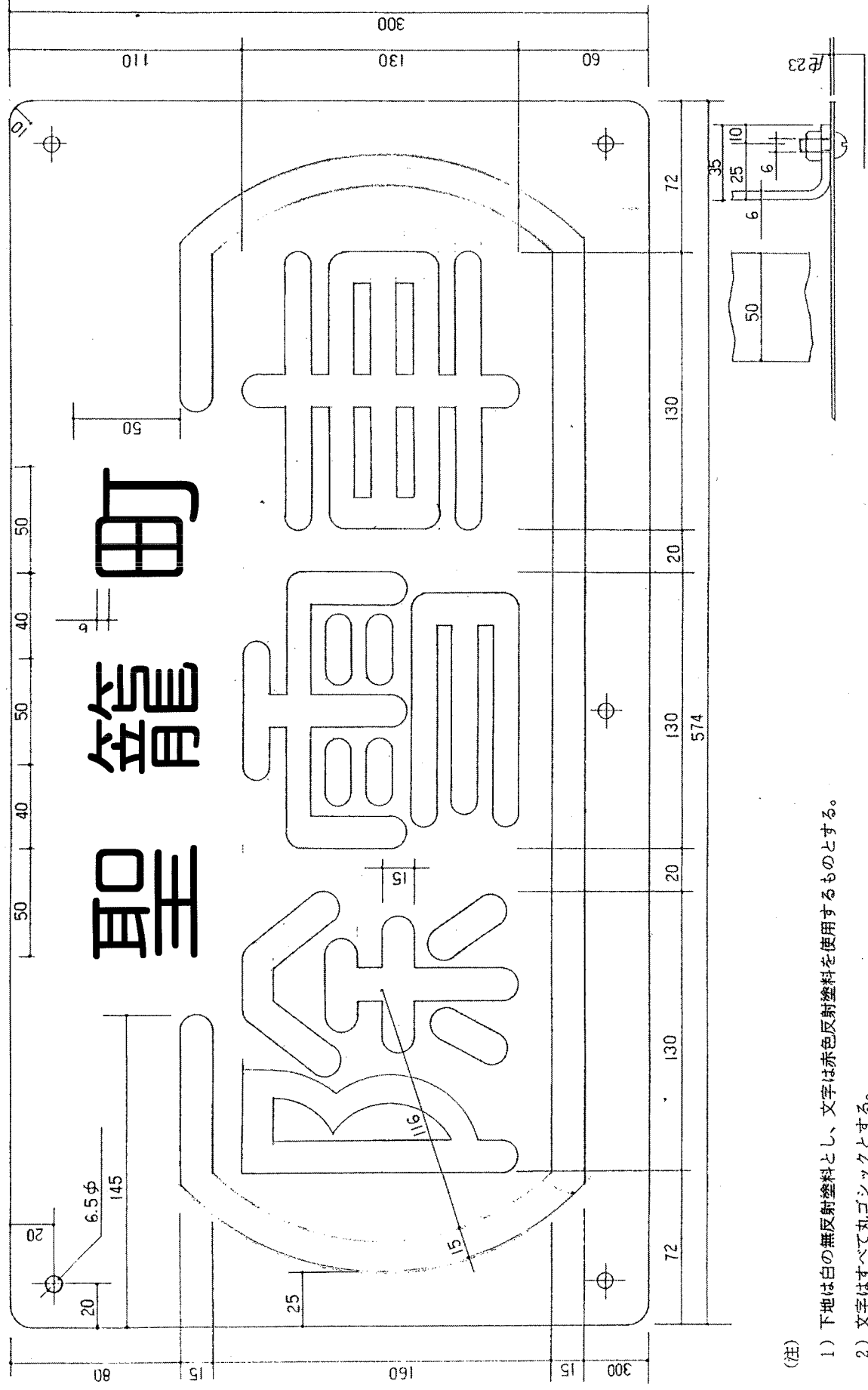
d オイル交換基準一覧表

5) 仕様書第10項に関する製作会社発行の保証書

3. その他の事項

- 1) 日常的なメンテナンスに必要な足がかり及び手摺りを設けること。また、足がかり部分には滑り止め等の安全措置を講ずること。
- 2) 黄色燈火等の取付け位置は、前後方向からの視認性を十分に考慮し、原則として運転室屋根中央部の車両中心線上に取付けるものとする。
- 3) 機械形状等により、文字等の位置・寸法の変更などが必要な場合については「発注者」と協議の上で決定するものとする。
- 4) 発注者は、納入機の製作工場等において、製作工程の進捗状況、仕様適合状況を確認することができる。この場合、必要な資機材、労務等は受注者の負担とする。
- 5) 車両は、「道路運送車両法の保安基準」で定める車体検査を受けた後に納入するものとし、「自動車損害賠償責任保険料」については「発注者」の負担とする。
- 6) 受注者は、納入機械の運転及び取り扱い等について十分な知識を有する技術者を納入場所に派遣し、取り扱い、維持管理方法について技術指導を行うものとする。
- 7) 受注者は、納入後もアフターサービスとして、維持管理等に関し誠実に協力すること。
- 8) アフターサービス及びメンテナンス体制については以下の基準を満足すること。
 - a 当該調達物品納入後10年間以上の部品の供給が可能であること。
 - b 消耗部品（通常の稼働状況で1年程度の期間内の消耗、又は劣化により交換が必要となる部品）、一般部品（5年程度の期間内に消耗又は劣化により交換が必要な部品）は速やかに供給すること。
 - c 次の基準を満足するサービス工場等が確保されていること。
 - ・自動車整備士（3級以上）が1人以上いること。
 - ・サービス工場を下越地区に有すること。
 - ・緊急時の整備員派遣体制を有すること。
 - ・当該機種の整備実績が年に1台以上あること。

- ・修理の依頼を受けてから速やかに着手すること。



(注)

1) 下地は白の無反射塗料とし、文字は赤色反射塗料を使用するものとする。

2) 文字はすべて丸ゴシックとする。